



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	36,100.31	179.08	0.50	-0.63	17.95	30,606.48
NASDAQ	15,860.96	156.68	1.00	-0.69	23.06	12,888.28
日経225	29,609.97	332.11	1.13	-0.01	7.89	27,444.17
上海総合	3,539.10	6.31	0.18	1.36	1.90	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,888.38	-10.28	-0.21	0.95	-6.20	5,211.29
ハンセン	25,327.97	79.98	0.32	1.84	-6.99	27,231.13
中国企業	9,114.37	65.98	0.73	3.33	-15.12	10,738.40

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は1.8%高と3週ぶりに反発、上海総合指数は1.4%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.8%高と3週ぶりに反発した。中国共産党の第19期中央委員会第6回全体会議(6中全会)の開幕で週前半は様子見ムードの強い展開。中国の強い物価指標の発表を受けて中国景気の先行きが警戒されたが、週後半は中国不動産業界に対する規制緩和観測が浮上して買いが広がった。本土市場では上海総合指数が週間で1.4%高と3週ぶりに反発。前半は節目の3500ポイント付近での値動きが続いたが、不動産業界への規制が緩和されるとの思惑が広がり、週後半は地合いが改善した。

### 今週の展望:香港市場は上値の重い展開か、週末にハンセン指数入れ替え発表

香港市場は上値の重い展開か。中国景気の先行きに対する警戒感がくすぶるなか、週末にハンセン指数の入れ替え発表を控えてウエート低下につながる既存銘柄には売り圧力が強まりそうだ。米中関係を巡っては首脳会談による対話再開で関係悪化への警戒感は後退しそうだが、不動産業界の債務危機を巡る懸念は今週もくすぶる公算が大きい。本土市場も上値の重い展開か。北京証券取引所で急騰銘柄続出となれば地合い改善につながる可能性はあるが、3500ポイントを上回る水準では利益確定売りが上値を抑えそう。

## 先週のハンセン騰落ランキング

### ▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 華潤置地(01109)	34.00	19.51
2 龍湖集團(00960)	39.35	16.59
3 碧桂園服務(06098)	62.60	13.71
4 中国海外発展(00688)	18.56	13.45
5 碧桂園(02007)	7.70	12.41
6 阿里健康(00241)	9.90	9.15
7 信義ガラス(00868)	21.85	8.98
8 中国平安保険(02318)	58.65	8.51
9 申洲國際集團(02313)	171.00	7.08
10 安踏体育用品(02020)	133.10	6.39

### ▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国蒙牛乳業(02319)	46.60	-4.41
2 吉利汽車(00175)	25.35	-4.34
3 長江実業地産(01113)	45.85	-4.08
4 海底撈國際(06862)	20.20	-4.04
5 BYD(01211)	300.00	-3.54
6 AIAグループ(01299)	83.20	-3.42
7 恒隆地産(00101)	17.28	-3.36
8 新鴻基地産(00016)	100.20	-3.00
9 ファイ・モバイル(00941)	47.45	-2.57
10 万洲國際(00288)	5.34	-2.38

## ▼今週の主なイベント

- 11月15日(月)
- 【中国】北京証券取引所の取引開始
- 11月16日(火)
- 【中国】米中首脳オンライン会談
- 11月19日(金)
- 【香港】ハンセン指数入れ替え発表

### ▼今週の期待材料

- ◆中国不動産市場で当局による規制緩和観測が浮上、「3つのレッドライン」の負債比率規制を緩和か
- ◆米中首脳が日本時間16日午前中にオンライン協議開催、米中関係のさらなる悪化への警戒感が和らぐ可能性も
- ◆北京証券取引所が15日に取引開始、新取引所の取引開始で証券業界の業績拡大期待が高まる公算

### ▼今週の懸念材料

- ◆米中で10月の物価指標が予想上回る高い伸びに、米国では22年半ばの利上げ開始見通し強まる
- ◆中国恒大集団のデフォルト懸念がくすぶる公算、利払い実施も資産売却などで綱渡りの状態続く
- ◆19日にハンセン指数の定期入れ替え発表、既存構成銘柄はウエート低下で売り圧力が強まる公算

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 裕元工業 (00551) : 1-9月期決算は6%増収、純損益は1億米ドルの黒字に転換
- ☆ 華虹半導体 (01347) : 7-9月期決算は純利益2.9倍に拡大、市場予想上回る
- ☆ CNOOC (00883) : 上海市場へのA株重複上場申請を中国証券当局が受理
- ☆ 農夫山泉 (09633) : 19日発表のハンセン指数入れ替えで採用有力候補に
- ★ SMIC (00981) : 台湾TSMC出身の取締役3人が辞任、今後の業務展開に不透明感
- ★ 中国中煤能源 (01898) : 10月の石炭販売量が3%減少、尿素は44%減少
- ★ 中国人寿保険 (02628) : 10月の保険料収入が4%減少、前月比では56%の大幅減
- ★ JDドットコム (09618) : 18日に7-9月期決算を発表、市場予想は58%減益
- ★ 新東方教育科技 (09901) : 義務教育段階の学科指導サービスを年内に停止
- ★ アリババ集団 (09988) : 18日に7-9月期決算を発表、市場予想は15%減益

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。